

奄美海援隊新聞 5・6月号

ハワリンバヤルへ出店

2014年5月4日(日)～5日(月)に練馬区「光が丘公園」(東京・練馬区)で行なわれたハワリンバヤル2014というモンゴルのお祭りにブースを借り奄美海援隊で出店することになりました。「ハワリンバヤル」は、モンゴル語で「春祭り」という意味。このお祭りは毎年5万人が訪れる日本最大級のモンゴルフェスへと成長しています。



今回はこのお祭りのために限定150個を入れたゆいのしま生石けんをモンゴルの塩を利用して特別販売しました。泡にも触れていただけるようにと実演しました。お客様の中にはなんと顔に試したいとそこで洗顔された方もいらっしゃいました。即、ご購入！また、孫へのお土産にしたいと購入された男性もいらっしゃいました！本当にありがとうございました。

当日は白鵬関、日馬富士などのモンゴル出身力士がかけつけ、会場は盛り上がり、ハワリンバヤルへ来場された方々にも少しでもゆいの島生石けんを知っていただくきっかけになりました。



泡の感触を実演中



可愛いモンゴルの子供たちの演技



森圭一郎さんとの交流会

高校時代バイク事故に遭い下半身不随になり車いす生活を送っているシンガーソングライターの森圭一郎さん。日本縦断ツアーやアメリカ縦断ツアーも敢行し、何度か訪れた徳之島で障害者の現状を知りました。徳之島の多くの障害を持った子供たちは設備の整った

都会の学校へ家族と離れて暮らすという。「何か自分にできることはないか。」

こうした思いで徳之島に障害者が通える学校(特別支援学校)を作るための署名活動も兼ねたライブツアー「Tour Road Trip 2013-2014 ひまわり～笑顔の花を咲かせたい～」で日本縦断に再挑戦中です。

「元気をあげに行つたつもりが、元気をもらって帰るんだよね。そんな島なんだよ、徳之島は・・・」。昔の自分は生きるのに精一杯だった。ようやく人のために出来ることをみつけた。と語る森さんの目は徳之島の子供たちの笑顔を思い出しているかのようでした。

サンコンさんや徳之島に関わる皆様にもお越しいただき、交流会をしました。

私たち奄美海援隊株式会社も森さんの活動を今後も応援していきます。



奄美海援隊メンバーとサンコンポーズ